



Doado Pelo
Povo Japonês

**令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力供与式の実施
(腎臓支援財団ジョインヴィレ外来透析クリニック医療機材整備計画)**

2025年2月28日、在クリチバ日本国総領事館は、サンタ・カタリーナ州ジョインヴィレ市「腎臓支援財団」（被供与団体）において、令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力による3台の透析装置（日本企業製）の供与式を実施しました。供与式には、大岩総領事代理、マイコン・マシャド被供与団体理事長、ジェゴ・マシャド／ジョインヴィレ市議会議長、同市日系団体代表など約40名が出席しました。

式典で、大岩総領事代理は、外来透析患者が一人でも多く救われることを願う、今回の供与機材が透析患者の一筋の光になることを心から望むとした上で、今回の日本政府による協力を機会に、ジョインヴィレ日系社会と同市地域社会との連携が強化されることを祈念すると述べました。マシャド理事長は、被供与団体は創設から37年間で多くの透析患者を救ってきたとした上で、日本政府から供与された日本企業製の3台の透析装置により10年間で計2万7千回の透析が可能となり、腎臓移植を待つ多くの患者の命が救われると謝意を表しました。挨拶を行った患者代表からは、日本政府から供与された透析装置に対し、クリニックの全患者及びその家族を代表して感謝したいとの言葉がかけられました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は、地域の住民生活に根差す開発事業を実施する団体への供与を通じ協力を行うもので、基礎生活（BHN）及び人間の安全保障にかかる緊急性が高い分野（教育、保健・医療、水・衛生、災害等）において、行政サービスが届きにくい地域・人口に直接的かつ機動的に展開されるものです。



大岩総領事代理による挨拶



記念プレートの除幕式



マシャド理事長による挨拶



ジェゴ市議会議員議長による挨拶



ロジェリオ透析患者による挨拶



ジョインヴィレ市日系コミュニティの参加者



供与機材



供与機材



メディアによる取材の様子



地元ラジオ局による大岩総領事代理インタビュー

問合せ先：在クリチバ日本国総領事館
電話 (41) 3322-4919 (2 番) e-mail: economiawb@c1.mofa.go.jp